第39回
長野県看護研究学会

つなぐ看護～その人らしさを支えるために～

抄　録　集

日時　平成30年10月6日土
10:00～16:00（受付開始 9:00）

会場　長野県看護協会会館

主催　公益社団法人 長野県看護協会

第39回長野県看護研究学会開催に寄せて

第39回長野県看護研究学会
学会長　松本 あつ子

本年より、長野県看護研究学会の会場を長野県看護協会会館で執り行うこととなりました。その目的は、安価にして多くの皆さんに集まっていただくこと、そして現場で起こっている問題や課題を研究的視点はもとより、業務改善やケースレポートなどにまとめることで多くの皆さんと情報の共有を図るための場として利用してもらいたいと考えたからです。今、あらゆる場で求められる看護職が、自分が行った看護実践をまとめることは、職種ごとのラダーに則り、組織・看護職一人ひとりが目指す看護を達成するための手段として大切なことと考えます。同時に、あらゆる現場にそれぞれの課題や葛藤など看護専門職としての役割を考える材料がたくさんあります。肩肘張らず、現場で考えていることを皆と共有できたら、それぞれの立場でのつながりの場となり、さらに新たな発想や様々なヒントにつながる機会となります。そんな場として学会を利用してもらえたらと考えます。

さて、今年度のメインテーマを「つなぐ看護 ～その人らしさを支えるために～」といたしました。看護現場で看護職が患者や利用者に相対するのはその方々の人生のほんの一瞬にすぎません。それぞれの方の人生の一瞬を点と捉えると、その人らしい人生を送ってもらうために看護専門職として地域や病院、施設で過ごす点と点を結び線に、そして面にしていく役割を私たちはつなぐことで果たしていきたいと考えます。今回、どのような健康状態であっても、その人らしく暮らしていける社会を目指したとき、看護専門職として何ができるのかを考える機会になることを心から願っています。

今年度の演題数は口演、示説合わせて43題です。交流集会は、認知症看護における訪問看護師との連携について、実践力のある在宅療養支援リーダー育成事業についての2題が予定されています。様々な領域からつなぐ看護を考えることができる興味深い内容が集まっています。今後の現場に活かせるよう一緒に考えたいと思います。

特別講演は堀内園子先生をお招きして「安心して年を重ねるために ～脳の健康を保つ工夫と衰えへの準備～」と題した講演をいただきます。先生は認知症高齢者のケアを通して多くの研究や大勢の看護者を育ててこられました。これからの高齢化社会で上手に年齢を重ねていくことを、そして看護職として何をするか重要な示唆を頂けるものと思います。

この学会開催にあたり、多くの演題を寄せていただき現場で尽力頂いた多くの皆様、そして学会委員の皆様はじめご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、参加された皆様が看護研究学会の新たな試みを通し、看護専門職の役割を考える機会となることを心より祈念し開催にあたっての挨拶といたします。

学会参加の皆様へ

1　受　付

受付は、1階玄関ホールにて9:00から開始いたします。座長受付・発表者受付・一般受付に分かれております。共同研究者の方は一般受付からご入場ください。

事前参加申し込みがお済みの方は、別便でお送りしてある参加証に氏名・所属をご記入の上、当日必ずご持参ください。他の方の参加証を使用しての入場はご遠慮ください。

また、当日参加申し込みの方は、当日受付にてお手続きください。会員の方は、会員証の提示をお願いいたします。なお、当日参加費のお支払いは現金のみとさせていただきます。

参加証明書・領収書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

2　学会参加証着用のお願い

受付でお渡しする名札入れへ、参加証を氏名・所属の見える向きでお入れください。

会場内では参加証の着用をお願いいたします。

3　昼食・弁当について

昼食は各自でご用意ください。

事前に弁当の申し込みをした方は、1階ロビーで「弁当引換券」と引き換えに弁当をお渡しします。

引換時間　11:00～12:30

11:00より飲食・休憩スペース脇で福祉施設による弁当等の販売がありますのでご利用ください。

4　飲食・休憩スペースについて

第6会場（館内1階実習室）が昼食・休憩スペースです。企業によるドリンクサービスがありますのでご利用ください。

企業セミナー中に限りセミナー会場でも飲食ができます。

ゴミは各自でお持ち帰りください。

5　企業セミナーについて

企業セミナー中は、会場内で飲食ができます。企業から弁当提供はありません。ゴミは各自でお持ち帰りください。

6　質疑応答について

質問は、座長の指示に従い、所定のマイクで、所属・氏名を明らかにして、要領よく簡潔に発言してください。時間節約のため、発言される方はあらかじめマイクの近くにお越しください。質問者は応答が終了するまでマイクの側に待機してください。なお、交見室は設けてありません。

7　写真撮影について

腕章を付けた広報・報道関係者以外は、会場内における写真・ビデオ撮影、録音はお断りいたします。なお、広報・報道関係者が撮影した写真を広報誌等に掲載させていただくことがあります。

8　呼び出し・携帯電話について

会館内での呼び出しはいたしませんので、1階受付・案内の「掲示板」をご利用ください。

携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードにしてください。また、発表会場内での携帯電話使用はご遠慮ください。

9　駐車場について

長野県看護協会西駐車場をご利用ください。駐車の際は誘導員の指示に従ってください。「詰め込み駐車」となり、学会開催時間内は車の移動ができない状態になります。

西駐車場がいっぱいになった場合、周辺の駐車場をご案内することがあります。

駐車場は収容台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

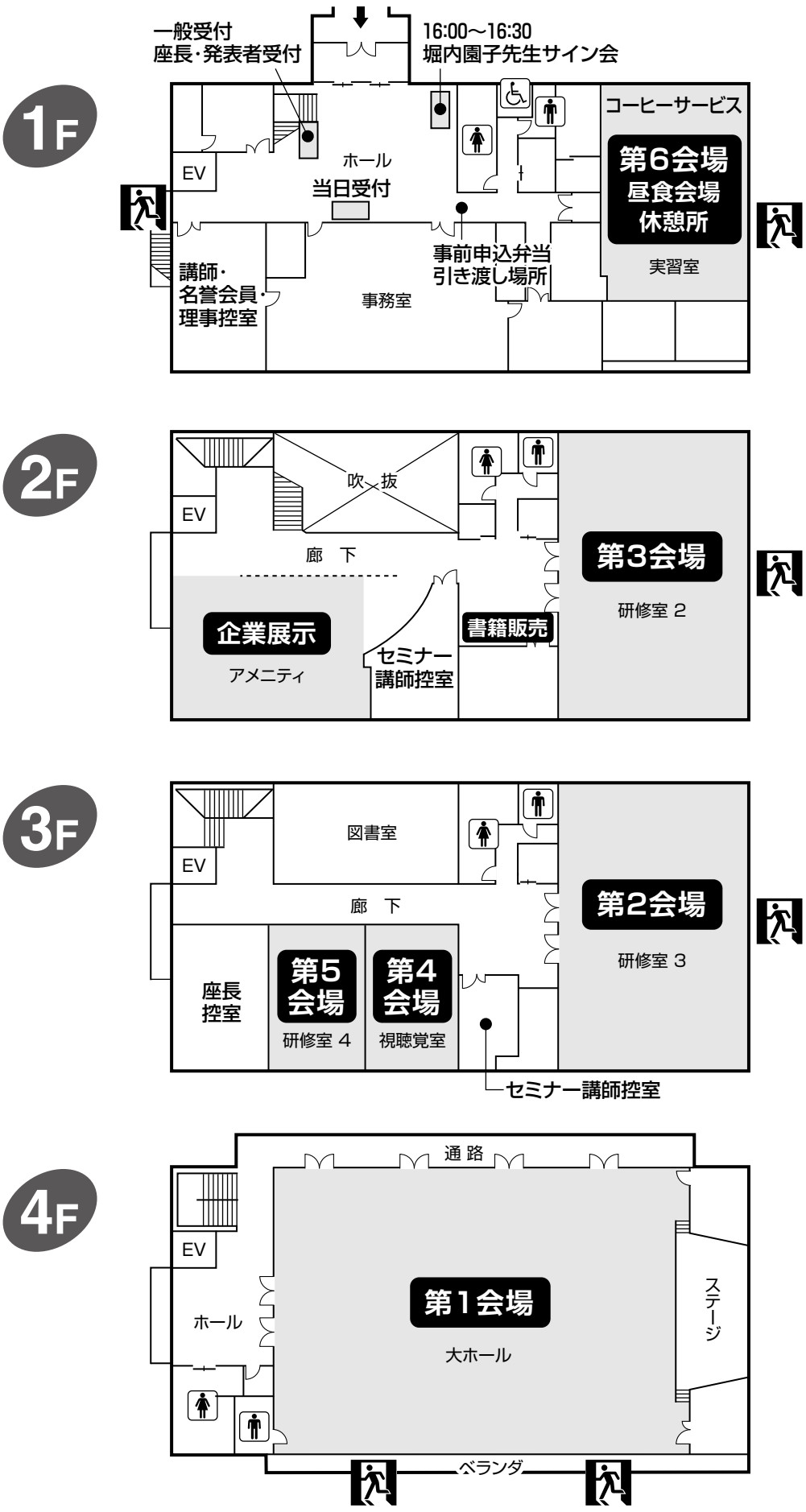
10 その他

ご用のある方は名札を付けた係員へお申し出下さい。また、非常時には係員の指示に従ってください。

アンケートはお帰りの際に、受付のアンケート回収箱へお入れください。ご協力お願いいたします。

クローク・ロッカーはありません。手荷物は各自で管理していただきますようお願いいたします。

会場案内図


1F
一般受付
座長・発表者受付
16:00～16:30
堀内園子先生サイン会
コーヒーサービス
第6会場
昼食会場
休憩所
実習室
EV
ホール
当日受付
事前申込弁当
引き渡し場所
講師・
名誉会員・
理事控室
事務室
2F
吹　抜
EV
廊　下
第3会場
研修室 2
企業展示
アメニティ
書籍販売
セミナー
講師控室
3F
図書室
EV
廊　下
第2会場
研修室 3
座長
控室
第5
会場
研修室 4
第4
会場
視聴覚室
セミナー講師控室
4F
通 路
EV
ホール
第1会場
大ホール
ステージ
ベランダ

日　程　表

	1F ロビー	第1会場 4F 大ホール	第2会場 3F 研修室3	第3会場 2F 研修室2	第4会場 3F 視聴覚室	第5会場 3F 研修室4
8:55	8:55～					
9:00	開場・受付開始				9:00～10:00 示説掲示	9:00～10:00 示説掲示
10:00		10:00～10:10 **開会あいさつ**	**開会あいさつサテライト**	**開会あいさつサテライト**		
		10:20～11:10 **口演** O1-1～O1-4 **第1群** 看護管理に関すること1	10:20～11:10 **口演** O2-1～O2-4 **第2群** 在宅看護に関すること1	10:20～11:10 **口演** O3-1～O3-4 **第3群** 成人看護に関すること1	10:20～11:10 **示説** P8-1～P8-4 **第8群** 成人看護に関すること2	
11:00						
		11:20～12:00 **口演** O4-1～O4-3 **第4群** 小児・母性に関すること	11:20～12:10 **口演** O5-1～O5-4 **第5群** 在宅看護・院内教育に関すること	11:20～12:10 **口演** O6-1～O6-4 **第6群** 在宅看護に関すること2		11:20～12:10 **示説** P9-1～P9-4 **第9群** 看護管理に関すること2
12:00		企画：南信ヤクルト販売㈱ 北信ヤクルト販売㈱	企画：大塚製薬㈱			
		12:30～13:10 **企業セミナー1** 腸内細菌とプロバイオティクス 健康のキーワード	12:30～13:10 **企業セミナー2** 女性ホルモンと手疾患 ～更年期で手が痛くなるのはなぜ？～	12:30～13:10 **企業セミナー3** 排泄ケアと感染管理 ～尿道留置カテーテル管理も含む～	企画：花王プロフェッショナル・サービス㈱	
13:00						
		13:20～14:20 **交流集会1** 認知症看護における訪問看護師との連携 ～他疾患合併のある認知症者の事例を通じて～	13:20～14:20 **交流集会2** 切れ目ない在宅療養支援をどう推進するか ―「最期までその人らしく生きる」を支える看護の継続を目指して―	13:20～14:10 **口演** O7-1～O7-4 **第7群** 終末期看護に関すること	13:20～14:10 **示説** P10-1～P10-4 **第10群** 成人看護に関すること3	13:20～14:10 **示説** P11-1～P11-4 **第11群** 成人看護に関すること4
14:00						
		14:30～16:00 **特別講演** 安心して年を重ねるために ～脳の健康を保つ工夫と衰えへの備え～ 堀内 園子先生	**特別講演 サテライト**	**特別講演 サテライト**		
15:00						
16:00	16:00～16:30 堀内先生サイン会				16:00～16:20 示説撤去	16:00～16:20 示説撤去

講演・企画　目次

特別講演／市民公開講座　14：30～16：00　　**第1会場**（4F 大ホール）

座長：松本 あつ子（第39回長野県看護研究学会 学会長）

安心して年を重ねるために
～脳の健康を保つ工夫と衰えへの備え～ …… 14

堀内 園子（NPO 法人なずなコミュニティ 理事 / グループホームせせらぎ ホーム長）

交流集会1　13：20～14：20　　**第1会場**（4F 大ホール）

認知症看護における訪問看護師との連携
～他疾患合併のある認知症者の事例を通じて～ …… 16

オーガナイザー
高山 陽子（長野県看護大学看護実践国際研究センター 認知症看護認定看護師）

発表者
花岡 雅子（JA 長野厚生連 北信総合病院 訪問看護認定看護師）
小林 理恵子（JA 長野厚生連 北信総合病院 認知症看護認定看護師）

司　会
櫛原 奈美（社会医療法人栗山会 飯田病院 訪問看護認定看護師）
上原 章（社会医療法人栗山会 飯田病院 認知症看護認定看護師）

交流集会2　13：20～14：20　　**第2会場**（3F 研修室3）

切れ目ない在宅療養支援をどう推進するか
―「最期までその人らしく生きる」を支える看護の継続を目指して― …… 17

オーガナイザー
坂口 けさみ（信州大学医学部 特任教授）

話題提供者
髙橋 香代子（相澤病院 老人看護専門看護師）
上沢 時枝（国保依田窪病院 看護師）　他

司　会
伊藤 みほ子（下伊那赤十字病院 看護部長 訪問看護認定看護師）
高橋 宏子（信州大学医学部 保健学科 准教授）

企業セミナー1　12：30～13：10　第1会場（4F 大ホール）

腸内細菌とプロバイオティクス
健康のキーワード …… 20

太田 俊久（株式会社ヤクルト本社 広報室）

企画：南信ヤクルト販売株式会社、北信ヤクルト販売株式会社

企業セミナー2　12：30～13：10　第2会場（3F 研修室3）

女性ホルモンと手疾患
～更年期で手が痛くなるのはなぜ？～ …… 21

岩川 紘子（信州大学医学部附属病院 整形外科 手の外科）

企画：大塚製薬株式会社

企業セミナー3　12：30～13：10　第3会場（2F 研修室2）

排泄ケアと感染管理
～尿道留置カテーテル管理も含む～ …… 22

印田 宏子（花王プロフェッショナル・サービス株式会社 学術部 学術情報グループ 感染管理認定看護師）

企画：花王プロフェッショナル・サービス株式会社

一般演題　目次

口 演 発 表

第1群　［ 看護管理に関すること1 ］　10：20～11：10　　第1会場（4F 大ホール）

座長：伊藤 まさ江（伊那中央病院）

O1-1　男性訪問看護師が職場環境に希望すること
信州大学医学部 保健学科　上原 文恵 …… 24

O1-2　退院後訪問指導実施に向けた人員の検討
国保依田窪病院　滝澤 由衣 …… 24

O1-3　A 病院での抗がん剤に対する認識調査
医療生協 長野中央病院　関 孝和 …… 25

O1-4　指定療養介護事業所の看護業務におけるリスクテイキング行動の調査
鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 三才山病院　小金沢 理絵 …… 25

第2群　［ 在宅看護に関すること1 ］　10：20～11：10　　第2会場（3F 研修室3）

座長：矢口 亜希子（長野県看護協会）

O2-1　喀痰吸引に依存した脳血管障害の長期入院患者のウイニングアプローチから自宅退院を実現する
JA 長野厚生連 佐久総合病院　白鳥 麗華 …… 26

O2-2　慢性呼吸不全患者の自己効力感と在宅酸素療法導入後の生活状況
JA 長野厚生連 北信総合病院　米沢 ゆん …… 26

O2-3　難病・がん患者家族が在宅療養に抱く思い
信州大学医学部 保健学科　鮫島 敦子 …… 27

O2-4　在宅におけるターミナル期の家族の思いと看護師の関わりが家族に与える影響
JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院　玉井 静江 …… 27

第3群 ［ 成人看護に関すること1 ］ 10：20～11：10 第3会場（2F 研修室2）

座長：中村 惠子（相澤病院）

O3-1 精神科病棟に勤務する看護師のレジリエンスと心の健康度・疲労度との関連

独立行政法人 国立病院機構 小諸高原病院 山崎 渉旦 …… 28

O3-2 認知症患者の身体抑制に対する看護師の思い

地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立信州医療センター 小林 志保 …… 28

O3-3 デスカンファレンスによる看護師・看護補助者のレジリエンス

軽井沢町国民健康保険 軽井沢病院 大曾根 亜由美 …… 29

O3-4 不眠を訴える入院患者への援助
～ラベンダーの精油を用いた不眠改善の効果～

長野中央病院 伊藤 未央 …… 29

第4群 ［ 小児・母性に関すること ］ 11：20～12：00 第1会場（4F 大ホール）

座長：中林 美枝（伊那中央病院）

O4-1 こどもケア外来で対応したグリーフケアに関する報告

佐久総合病院 加賀田 真寿美 …… 30

O4-2 助産師による性教育が中学生に与える性イメージの影響と意識の変化

浅間総合病院 山口 恵 …… 30

O4-3 A 病院新生児病棟に入院する児の母親における面会時の過ごし方と
思いについての検討

地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立こども病院 吉瀬 瞳 …… 31

第5群 ［ 在宅看護・院内教育に関すること ］ 11：20～12：10 第2会場（3F 研修室3）

座長：箕輪 恵美子（信州医療センター）

O5-1 急性期病院における、医療処置を要する患者への
退院後訪問指導からみえてきたこと

JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 寺沢 愛 …… 32

O5-2 退院支援の問題点に関する改善点の検討
～ビジュアルアセスメントによるチーム力向上を目指して～

長野県立総合リハビリテーションセンター 小野塚 智江 …… 32

O5-3 A 病院看護職員のボディメカニクスの活用と妨げる要因
―ボディメカニクス８原則に関する実態調査―
昭和伊南総合病院 宮入 美帆 …… 33

O5-4 A 病棟における体位変換技術力の現状と課題
飯山赤十字病院 草間 恵 …… 33

第6群 ［ 在宅看護に関すること2 ］ 11：20～12：10 第3会場（2F 研修室2）

座長：伊藤 みほ子（下伊那赤十字病院）

O6-1 救急病棟に４か月以上入院した重症筋無力症患者の家族へのケア
JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 村木 美奈子 …… 34

O6-2 在宅療養を支援する訪問看護認定看護師が認識する在宅療養支援上の課題や困難
信州大学 徳武 千足 …… 34

O6-3 母を介護した息子介護者が排泄ケアを継続できた要因
～介護を終えた息子介護者への半構成面接をして～
日本赤十字社 川西赤十字病院 山口 直子 …… 35

O6-4 がん患者の在宅療養における思いの分析
―在宅療養中のがん患者へのインタビューを通して―
信州大学 北條 由美乃 …… 35

第7群 ［ 終末期看護に関すること ］ 13：20～14：10 第3会場（2F 研修室2）

座長：細田 江美（長野県看護大学）

O7-1 終末期看護の視点から看取りの瞬間に間に合わなかった家族の気持ちを考察する
長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター 井口 祐維 …… 36

O7-2 口腔トラブルのある終末期患者の口腔ケアの介入の効果
～ OHAT の評価を取り入れて～
JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 山口 敦実 …… 36

O7-3 訪問看護師が人生の最終段階にあるがん患者の意思決定を支援するプロセス
軽井沢町国民健康保険 軽井沢病院 宇野 要子 …… 37

O7-4 がん性皮膚潰瘍を持つ乳がん患者が望んだ自分らしさ
JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター 東舟道 彩 …… 37

示説発表

第8群 ［成人看護に関すること2］ 10：20～11：10 第4会場（3F 視聴覚室）

座長：百瀬 ちどり（松本短期大学）

P8-1 便性状・量の表現を多職種間で標準化する方策の検討
―ブリストルスケール・排便量スケール導入の効果―
飯山赤十字病院 佐藤 つや子 …… 40

P8-2 仙骨・臀部の発赤発生時の早期対応についての取り組み
～フローチャートを使用して～
JA 長野厚生連 北アルプス医療センター あづみ病院 田村 華那 …… 40

P8-3 虚血性腸炎により人工肛門を造設された高齢患者のセルフケアと
家族の介助の確立までの看護支援
松本市立病院 松川 悦子 …… 41

P8-4 ストーマ造設患者の退院後の QOL を回復させる要因について
昭和伊南総合病院 米山 美奈 …… 41

第9群 ［看護管理に関すること2］ 11：20～12：10 第5会場（3F 研修室4）

座長：奥原 香織（松本短期大学）

P9-1 新人看護師が指導を受けてきた中で先輩看護師に抱く思い
JA 長野厚生連 北信総合病院 岡野 菜穂 …… 42

P9-2 学生指導における臨地実習指導経験の少ない看護師の思いを知る
JA 長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 金箱 枝利香 …… 42

P9-3 救急外来看護師の災害初期対応に対する思い
地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立信州医療センター 湯本 美保 …… 43

P9-4 医療療養病棟における認知症高齢者と関わるスタッフの思い
JA 長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 浦野 恵美 …… 43

第10群 ［ 成人看護に関すること3 ］ 13：20～14：10 第4会場（3F 視聴覚室）

座長：藤本 二三子（長野中央病院）

P10-1 SDHの視点からみた若年脳血管疾患患者の実態
～A病院回復期リハビリテーション病棟からみえたもの～
長野医療生活協同組合 長野中央病院 佐久間 奈央 …… 44

P10-2 神経難病患者への五感を活用した食事のアプローチ
～食事が楽しみという患者の思いに寄り添って～
JA長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 高橋 亜里沙 …… 44

P10-3 頸髄症患者の術後1年間の実態調査と「患者用上肢運動プログラム」の
有用性について
JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 北村 嘉奈子 …… 45

P10-4 上部消化管内視鏡検査におけるガスコンドロップ®水服用後の
含嗽追加による口腔内不快感への効果
軽井沢町国民健康保険 軽井沢病院 橘木 智子 …… 45

第11群 ［ 成人看護に関すること4 ］ 13：20～14：10 第5会場（3F 研修室4）

座長：岩井 深記（諏訪赤十字病院）

P11-1 眼科硝子体手術後にうつむき体位と安静を強いられる患者の心理
JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 西岡 春華 …… 46

P11-2 整形外科の全身麻酔で手術で入院する患者への事前説明
～入院支援に患者が求めている事を調査して～
医療生活協同組合 長野中央病院 酒井 美知子 …… 46

P11-3 乳がん術後の経過観察中にネフローゼ症候群を発症し緊急透析となった
A氏に対する危機看護介入を振り返る
松本市立病院 降幡 直美 …… 47

P11-4 透析患者の内服薬の理解と意識向上を図るための支援
JA長野厚生連 下伊那厚生病院 丸山 直子 …… 47

特別講演／市民公開講座

安心して年を重ねるために
～脳の健康を保つ工夫と衰えへの備え～

堀内 園子

NPO 法人なずなコミュニティ 理事
グループホームせせらぎ ホーム長

14：30～16：00　**第1会場**（4F 大ホール）

安心して年を重ねるために
～脳の健康を保つ工夫と衰えへの備え～

堀内 園子

NPO 法人なずなコミュニティ 理事／グループホームせせらぎ ホーム長

年齢と老化に関する意識調査によると、「自分が年をとったと感じるのは？」という質問に対し、30代は「疲れやすくなった」、40代は「白髪が増えた」、50代は「老眼」、60代は「もの忘れが増えた。アレ、ソレと言うことが増えた」が第1位だったといいます[1)]。

この調査で興味深いのは、どの年代も40％以上の人が「もの忘れが増えた。アレ、ソレと言うことが増えた」ことを老いの自覚として上位に挙げている点です。

「もの忘れ」「アレ、ソレ言葉」は「老いの自覚」と密接に関係しているようです。こうしたことから、「年をとると、もの忘れが増える」⇒「年をとると、脳が衰える」⇒「年をとると、ほとんどの人が認知症になる」という図式が多くの人の心に刷り込まれているように思います。

ところが、最近の研究では「年をとっても、脳は衰えない」「年をとっても記憶力は低下しない（加齢と記憶力の低下は関係ない）」ことがわかってきました。脳は、100年使っても衰えないたくましい臓器だということが証明されつつあります。

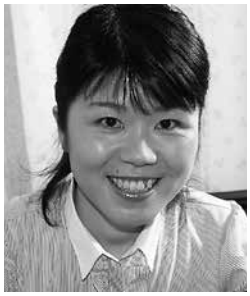
そうはいっても、年齢と共に「もの忘れ」「アレ、ソレ言葉が増えた」と実感する人が多く、高齢社会と共に認知症の人の数も増えているわけですから、脳はたくましい臓器だ、といってもにわかに信じられないと思いますが、わたし自身、日々の取り組みの中で様々な脳の可能性を感じています。

それは健康な方だけでなく、記憶力に不安を感じている方、アルツハイマー病の初期と診断された方に対しても良い働きかけになるということもみえてきています。

今回の講演では、脳に関する最近の研究や実践からみえてきた脳の力を引き出す方法、それを日々の生活の中に取り入れていく具体策をご紹介しながら、会場のみなさまと共に安心して年を重ねることについて考えたいと思います。

【引用文献】

1）年齢と老化に関する意識調査，エバーライフ年齢研究所発表，報道用資料，2012/5/29，
http://www.aging-lab.jp/pdf/20120529.pdf（2018年7月19日）



略　歴

聖路加看護大学（現在の聖路加国際大学）卒業。

聖路加国際病院をはじめとしたケア現場で働いた後、聖路加看護大学修士課程・博士課程修了。

富山医科薬科大学（現：富山大学）、首都大学東京にて看護教育に携わりながら、認知症の人のケアの現場に関わる。

現在、認知症対応型グループホームせせらぎホーム長として認知症高齢者の24時間の暮らしを支えるケアと、NPO 法人なずなコミュニティにて、ハーブやアロマ、タッチング、フィジカルアセスメントを活用し、ストレス緩和ケア、ケアスタッフのストレスマネジメント、現場の研究支援、教材開発に取り組んでいる。

【著書等】 ◇堀内園子著：認知症看護入門，ライフサポート社.
◇堀内園子著：触れるケア；看護技術としてのタッチング－，ライフサポート社.
◇堀内園子著：系統別高齢者フィジカル・メンタルアセスメント，日総研出版.
◇三宅貴夫，堀内園子，内田勝也 著〈医師〉〈看護師〉〈患者・家族〉による認知症の本，
岩波書店．他

交流集会

交流集会1　13：20～14：20　　**第1会場**（4F 大ホール）

認知症看護における訪問看護師との連携
～他疾患合併のある認知症者の事例を通じて～

オーガナイザー

高山 陽子

長野県看護大学看護実践国際研究センター 認知症看護認定看護師

交流集会2　13：20～14：20　　**第2会場**（3F 研修室3）

切れ目ない在宅療養支援をどう推進するか
―「最期までその人らしく生きる」を支える看護の継続を目指して―

オーガナイザー

坂口 けさみ

信州大学医学部 特任教授

認知症看護における訪問看護師との連携
～他疾患合併のある認知症者の事例を通じて～

オーガナイザー　高山 陽子　長野県看護大学看護実践国際研究センター 認知症看護認定看護師

発　表　者　花岡 雅子　JA 長野厚生連 北信総合病院 訪問看護認定看護師
　　小林 理恵子　JA 長野厚生連 北信総合病院 認知症看護認定看護師

司　　会　櫛原 奈美　社会医療法人栗山会 飯田病院 訪問看護認定看護師
　　上原 章　社会医療法人栗山会 飯田病院 認知症看護認定看護師

2025年には認知症有病者は700万人を超えると言われ、それに伴い、他疾患合併による急性期病院への入院数の増加も予想される。また、平成30年度診療報酬改定では、入退院支援に関する事項に重点が置かれ、切れ目のない連携が推進されている。

急性期病院では、入院期間の短縮化により、治療が終了すると早期の退院を勧められる。しかし、認知症の人は、加齢による身体機能の低下に加え、認知機能が低下することで健康管理が難しく、入退院を繰り返すケースは少なくない。

認知症の人が入院をすると、環境変化に対応できず、せん妄や行動心理症状から、日常生活動作を下げるだけでなく、認知機能の低下を助長させる。しかし、一旦低下すると、以前の状態に戻るには時間を要する。したがって、急性期病院においては、その人の能力を如何に維持するかが大きな課題である。また、地域では健康管理が困難な認知症の人にとって、合併症を引き起こさず、入退院を繰返さないために何らかの支援が必要になってくる。そのために、病院看護師として、その人の入院前の身体・精神・社会的背景を知り、生活においてできることに視点をおくこと、地域で関わる看護師は、入院中の状況と今後起こりうる変化を考慮し、もとの生活に早期に戻れるような調整が必要である。

この交流集会では、認知症の人が他疾患合併のために入院しても、認知機能や日常生活動作・手段的日常生活動作の低下を最小限にし、地域に戻っても合併症を起こさない、または再発せずに、住み慣れた場所でその人らしく生活するために、どのような連携が重要なのかを事例を通じて考えてみたい。

今回は、訪問看護認定看護師と認知症看護認定看護師との合同による開催で、お互いの立場から、認知症看護における連携について参加者と共に考える。

切れ目ない在宅療養支援をどう推進するか
―「最期までその人らしく生きる」を支える看護の継続を目指して―

オーガナイザー　坂口 けさみ　信州大学医学部 特任教授

話題提供者　髙橋 香代子　相澤病院 老人看護専門看護師
　　上沢 時枝　国保依田窪病院 看護師　他

司会　伊藤 みほ子　下伊那赤十字病院 看護部長 訪問看護認定看護師
　　高橋 宏子　信州大学医学部 保健学科 准教授

長野県は平均寿命が男女ともに日本のトップクラスを維持していますが、高齢化率は確実に上昇しており、長寿社会を見据えた地域医療体制や医療費の抑制は大きな課題となっています。その上、難病やがん、重症児など、在宅におけるニーズや対象は複雑化し、多様化しています。殊に医療機関においては入院期間の短縮に伴い、引き続き医療処置の必要な患者の退院が急増しています。このような地域医療の変化の中で、在宅療養を支援できる看護職の育成が強く求められてきています。

長野県内における訪問看護ステーション数は、平成28年度報告によると156箇所、訪問看護師数は983人（全看護職の3.4％）と微増していますが、これからの社会情勢を考えるとその数や質の確保は充分ではありません。また、医療機関に勤務する看護師の退院支援及び在宅療養に関する支援は充分とは言えません。その上、病院から地域へ繋ぐ、切れ目のない医療やケアが提供できる基盤整備も急務な課題となっています。

これらを背景に、信州大学を中心に平成26年～平成30年の5年間にわたり、「実践力ある在宅療養支援リーダー育成事業」を実施しました。対象は、病院及び訪問看護ステーション等に勤務する在宅療養支援に関心が高い看護職に対して、共に学ぶ場を提供しました。これまで総勢約100名の看護職が受講しています。現在本事業は進行中ですが、これまでに

①自施設での退院支援部門の充実
②在宅療養支援システム構築への具体的取り組み
③病院と訪問看護ステーション看護師のネットワークの構築と重要性

など、受講した看護職によるいくつかの成果が現れ始めています。

交流集会では、これからの社会情勢を鑑み、看護職として切れ目ない在宅療養を支援推進していくことを目指して、「最期までその人らしく生きる」を支える看護の継続について考えてみたいと思います。具体的には県内の訪問看護ステーション、病院等に勤務する方々に、実際の取り組みや工夫、課題を紹介してもらうと共に、交流集会に集まった参加者との意見交換を行いたいと思います。そして、1つでも役立ちそうな情報を持ち帰り、明日からの活動に活かしていただきたいと思います。

企業セミナー

企業セミナー1　12：30～13：10　　**第1会場**（4F 大ホール）

腸内細菌とプロバイオティクス健康のキーワード

太田 俊久
株式会社ヤクルト本社 広報室

企画：南信ヤクルト販売株式会社、北信ヤクルト販売株式会社

企業セミナー2　12：30～13：10　　**第2会場**（3F 研修室3）

女性ホルモンと手疾患
～更年期で手が痛くなるのはなぜ？～

岩川 紘子
信州大学医学部附属病院 整形外科 手の外科

企画：大塚製薬株式会社

企業セミナー3　12：30～13：10　　**第3会場**（2F 研修室2）

排泄ケアと感染管理
～尿道留置カテーテル管理も含む～

印田 宏子
花王プロフェッショナル・サービス株式会社
学術部 学術情報グループ 感染管理認定看護師

企画：花王プロフェッショナル・サービス株式会社

腸内細菌とプロバイオティクス
健康のキーワード

太田 俊久
株式会社ヤクルト本社 広報室

ヒトの腸内には1,000種類、100兆個もの細菌が棲んでいることが知られています。腸内の細菌は叢（くさむら）のように群がっていることから、腸内細菌叢、または腸内フローラと呼ばれ、そのバランスを保つことが重要と考えられています。21世紀に入り、腸内細菌の分析手法が発展してきたことから、腸内細菌とヒトの健康に関する研究成果が数多く発表されるようになってきました。その中には肥満や脳機能といった、これまでの常識では腸内細菌と関連していることが想像できなかったような生体機能も含まれています。

本講演では、腸内細菌の基本的な知見について触れるとともに、腸内細菌に関する最近の話題についてご紹介致します。また、腸内細菌のバランスを保つ有力な手段として、プロバイオティクスと呼ばれる微生物を利用することについてご提案したいと思います。プロバイオティクスは、古くは「腸内細菌のバランスを改善することを通じて宿主に有用な作用を示す生きた微生物」と定義されていましたが、現在ではその有用性が広く認められているとともに、その定義も広がってきております。本講演を通じて、プロバイオティクスの健康への寄与についてご興味を持って頂ければ幸いです。

女性ホルモンと手疾患
～更年期で手が痛くなるのはなぜ？～

岩川 紘子
信州大学医学部附属病院 整形外科 手の外科

女性ホルモンであるエストロゲンは、分子量300程度の小さい脂溶性ステロイドで、多くの器官や組織における恒常性維持や機能に関わっていることが明らかになっています。

手外科領域においてもそれは例外ではなく、手の疾患は女性に多いのが特徴です。かつ40～50代の閉経前後または周産期に好発することから、女性ホルモンの不均衡がその発症に大きく関係していると考えられてきました。

手根管症候群や、ドゥケルバン病、ばね指を代表する狭窄性腱鞘炎、ヘバーデン結節や母指CM関節症などの変形性指関節症などの手の疾患は、更年期を過ぎたあたりから増加傾向を認め、整形外科に多くの患者さんが訪れます。治療は薬物療法、装具療法、手術療法と多岐に渡ります。

本講演では、女性ホルモンの不均衡にともなう手外科疾患に着目し、その疫学や病態、治療法について概説いたします。さらにその病態生理の解明に向けた最新の知見や、症状改善に効果が期待される予防ケアについて紹介いたします。

排泄ケアと感染管理
～尿道留置カテーテル管理も含む～

印田 宏子
花王プロフェッショナル・サービス株式会 社学術部 学術情報グループ 感染管理認定看護師

下部尿路症状の頻度はおおむね年齢とともに上昇し、尿失禁、オムツの使用は70歳以降で急激に上昇するという報告がある。このようなことから医療施設においても排泄障害がある高齢者が増加し、排泄ケアを受ける機会が増える。排泄物には、感染症を引き起こす病原微生物も含まれ排泄ケア時のケアスタッフによる感染対策の不徹底により病原微生物が伝播され、感染症が発症し本来受けるべき治療がうけられない状況になる場合もある。

おむつ交換時や排泄ケアは微生物の伝播の遮断を考えた手指衛生のタイミングや個人防護具の着脱のタイミングを記載した手順を作成し、標準予防策を日常から実践することが重要である。

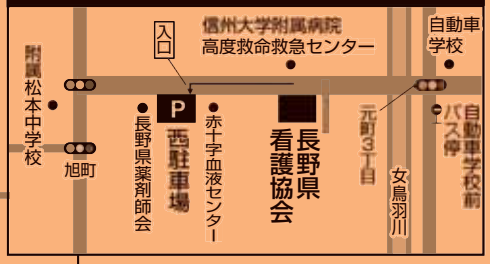
また、平成28年度の診療報酬改定で排尿自立指導料が保険収載された。1日でも早く尿道留置カテーテルを抜去し、尿路感染を防止するとともに、排尿の自立に導くための適切な排尿ケアを実施するために、排泄ケアチームを立ち上げ多職種で連携して実践されている。さらに、尿道留置カテーテルを抜去するまでの管理や抜去できない継続留置時の管理も尿路感染症を予防するために重要である。

尿道留置カテーテル留置時の感染経路は、カテーテル外側を通り微生物が侵入する場合、カテーテルとバックの接続部からカテーテル内側を通り微生物が侵入する場合、そして、バックの排液口から微生物が侵入する場合がある。これらの経路を理解し、微生物が侵入しないように日々のケアにおいてカテーテル関連尿路感染予防策を実施することが重要である。

今回は、排泄ケアにおける感染管理やカテーテル関連尿路感染予防の基本的な方法やそれを実践するためのポイントをお伝えしたいと思う。

長野県看護協会会館周辺マップ

長野県看護協会及び駐車場



松本バスターミナル

所　在　地

〒390-0802 長野県松本市旭 2-11-34

TEL.0263-35-0421（代）

交　　通

●電　車…… JR 中央線・篠ノ井線松本駅下車。

●バ　ス…… 松本駅から約20分。東口前❷❸バス停より乗車、または松本バスターミナル❶より乗車。

❶ 信大・横田循環線1番乗り場（所要時間12分）
横田・信大循環線2番乗り場「信州大学前」下車　徒歩4分

❷ 北市内線西まわり（所要時間17分）「信大病院玄関前」下車　徒歩3分

❸ 北市内線東まわり（所要時間20分）

●タクシー… 松本駅から約15分

お問合せ・申し込み先

公益社団法人 **長野県看護協会事務局**

〒390-0802 長野県松本市旭 2-11-34

TEL.0263-35-0421　FAX.0263-34-0311

公益社団法人 長野県看護協会の公式ホームページからでもご覧になれます。 **http://www.nursen.or.jp**